

國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案外十二件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

事業公債金特別會計法中改正法律案

道路公債法案

電信事業公債法案

電話事業公債法中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

臺灣事業公債法中改正法律案

樺太事業公債法中改正法律案

大正五年法律第四號中改正法律案

國債整理基金特別會計法中改正法律案

家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案

鐵道國有法中改正法律案

京釜鐵道買收法中改正法律案

委員氏名

委員長
副委員長

荒井 賢太郎君
小山 健三君
子爵榎本 武憲君
男爵東郷 安君
男爵池田 長康君
仁尾 惟茂君
中村 純九郎君
菅原 通敬君
佐藤 傳兵衛君

大正九年七月二十二日(木曜日)午前十時十五分開會

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ開會イタシマス、最

初ニ政府委員カラシテ、案ノ説明ヲ承ハリタイト思ヒマス、

全體ノ案ノ説明ヲ承ハリタイト思ヒマス、ソレカラ各案ニ付イテ類別

シテ質問ヲ致シタガ宜カラウト思ヒマス、サウ云フコトニ

致シタイト思ヒマス

○政府委員(神野勝之助君) 説明ヲ申上ゲマッスルガ、斯

ウ云フ順序ニ申上ゲヤウカト思ヒマス、第一ハ國債償還資

金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案、ソレカラ事業公

債金特別會計法中改正法律案、ソレカラ事業公債ニ移リ

マシテ、其順序ハ道路公債、電信事業公債、電話事業公

債、朝鮮事業公債、臺灣事業公債、樺太事業公債、斯ウ云

フ順序ニ參リマシテ、ソレカラ大正五年法律第四號中改正

法律案、ソレカラ國債整理基金特別會計法中改正法律

案、ソレカラ家祿賞典祿處分法施行法中改正法律案、鐵

道國有法中改正法律案、京釜鐵道買收法中改正法律

案、斯ウ云フ順序ニ申上ゲヤウカト思ヒマス、國債償還資金

ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案ハ今回新規國防充

實ニ關スル計畫ヲ遂行イタシマスル爲ニ、其財源ノ一部ト

致シマシテ國際償還資金三千万圓ノ之ニ充當イタシマス

爲ニ九年度カラ十二年度ニ至ル迄ノ間ハ國債整理基金

特別會計法ノ第二條ニ規定シタル所ノ國債償還資金ノ

繰入ヲサナヒテモ宜シイト云フ單行法ヲ制定シタト云フ

ノデアリマス、國債整理基金特別會計法ノ第二條ハ、國債

償還ノ元金ヲ年々繰入レテ行カネバナラヌ、其繰入レテ行

クベキ金額ト云フモノハ、前年度ノ始メニ於ケル國債總高

ノ萬分ノ百十六若クハ少ナクモ三千万圓以上ヲ年々繰入

レテ行カネバナラヌト云フ規定ニナレテ居ルデアリマスガ、

此國債整理基金法ニ定メテ居ル主義ト云フモノヲ今日之

ヲ廢止シヤウト云フノデアリマス、主義ハ矢張り

依然トシテ維持イタシテ參リマシテ、此四年ヲ過レバ無論

復舊ヲ致ス計畫デアリマス、又四年内ト雖モ、今日ノ所デハ

四年間ハ之ヲ中止スル計算デ居リマスケレドモ、若シ歲計

ノ都合上四年間以内ニアツテモ一部若クハ全部ノ償還ガ

出來ル場合ニハ矢張り償還ヲ致シテ行キタイト心得テ居ル

ノデアリマス、ソレ故ニ國債整理基金法其物ヲ改正シヤウ

ト云フコトハ致サナイデ、單ニ單行法ヲ以テ臨機ノ處分ヲ

致シタイト云フノ趣意デアリマス、之ニ對シテハ或ハ國防

充實計畫ヲスルニハ、三千万圓ノ繰入ヲ爲サナイデ、剩餘

金ヲ以テ之ニ充當シテ行ケバ宜ヒノデアリカト云フヤウ

ナ御説モ、往々承ハル所デアリマスルガ、剩餘金ヲ以テ之ニ

繰入レルト云フコトハ、今日ニ於テハ其餘格ガナイノデアリ

マスルシ、又剩餘金ナルモノハ他ノ緊急必要ナル國費ニ臨

機充當シテ行カネバナラヌノデアリマスルガ、別ニ財源ヲ求

メナケレバナラヌ必要上カラ、矢張り此國債償還資金ヲ一

時流用シテ行キタイト云フノデアリマス、或ハ又國債償還

ハ續行シテ行キタイト此場合ニ増稅ヲ金デテ、寧ロ一舉シテ

其増稅ヲ一層多クシテ増稅ノ率デモ多クシタガ宜イデヤ

ナイカト云フヤウナ御説モ世間ニ於テ聽キマスルガ、併シ増

稅ナルモノハ止ムヲ得ズシテ極ク必要ノ程度ニ於テ爲スベ

キモノデアツテ、増稅ヲセズシテ、増稅ト比較シテ見テヤリ易

イヨリ國民ノ負擔ヲ増サズシテ行ケル其方ガ公益上宜シイ

ト云フコトナラバ、之ヲ増稅ニ求メズシテ一時ニ増稅ヨリモ

ヨリ良キ方法ニ依ル方ガ至當ト考ヘマシテ、之ヲ全部増稅

ニ求メズシテ四年間バカリハ國債償還資金ヲ充當シテ行キ

タイト云フ計畫デアアルデアリマス、又或ハ償還ヲ中止スレ

バ我公債ノ信用ヲ傷ケルヤウナコトガナイカト云フヤウナ御

説モ承ハル所デアリマスルガ、要スルニ國債ノ信用ナルモノ

ハ大體其國ノ國力ノ如何ニ存シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ

一時中止イタスガ爲ニ國債ノ信用ヲ傷ケルコトハナト信

ジテ居ルノデアリマス、殊ニ今日ニ於キマスル國債償還ノ問

題ハ主トシテ大正十四年ニ期限トナリマスル四分半利附

英貨公債ノ償還ガ問題トナルデアリマス、ソレデ若シ元金

ノ償還中ヲ止マシテ行クモノハ何處ヘ充當シテ行クカト申シ

マッスレバ、是ハ何レノ政府ニアツテモ主トシテ四分半利付英

貨公債ノ償還ニ充當シテ行ク方針ヲ是マデ執ッテ來タノデ

アリマスルカラ、假令償還ノ中止ヲ致サナイデモ、四分半利

付英貨公債ノ償還ニ充當シテ行クモノト考ヘルノデアリマ

ス、ソレニ對シマシテハ此四分半利ノ英貨公債ノ實況ハ、初

メ發行イタシマシタル額ハ五億八千五百萬圓、五億八千五

百萬圓ノ中既ニ買入償却ノ済マシタルモノガ一億六千九百

萬圓、買入ハ済ンデ償却ノ手續ノ済マナイモノガ約六千万

圓、本年度中ニ買入見込ヲ致スモノガ千萬圓、之ヲ總計致

シマシテ二億四千万圓ト云フモノガ既ニ買入償却ノ済ムノ

デアリマス、サウ致シマスルト云フコトニナル、此三億四千万

圓ハ如何ニスルカト云フ問題ニナルノデアリマスルガ、是ハ

十四年マデニ矢張り相當ナ時機ヲ見テ借替ヘテ致サナケレ

バナラヌト思フノデアリマス、併ナガラ萬一ニモ外國市場ノ

狀況ノ如何ニ依ッテ借替ガ出來ナイト云フ場合ニハ預金部

ニ於テ全部ノ引受ケテ其借替ニ應ズルト云フ覺悟デアアル

ノデアリマス、預金全部ハ今日ニ於テ約三億九千万圓ノ在

外正貨ヲ所有イタシテ居リマスルカラ、萬一ノ場合ニ此三

億四千万圓ノ借替ニ應ズル資力ハ現ニ準備シテ有テ居ル

ノデアリマスルカラ、四分半利付英貨公債ノ將來ニ付テハ

何等懸念スルコトガナイト考ヘテ居ルノデアリマス、ミナラ

ズ、預金部ハ現ニ三億九千万圓ノ在外正貨ヲ以テ居リマ

スルカラ、國債償還トシテ英貨公債ヲ買ハナクシテ一時中

止ヲ致シテモ、預金部ハ其在外正貨ヲ以テ都合ノ好イ時ニ

ハ此外國市場ニ於テ四分半利付ノ公債ヲ有利ノ場合ニ

買デ、運用トシテ之ヲ所有イタシテ置クト云フ途モアルノデ

アリマス、ソレデアリマスルカラ市場カラ見マッスレバ矢張り從

來ト異ナル所ナク、日本政府ノ手ニ依リテ市場カラ買ハレ

ヲ採鹽シテ、需要供給ノ調節ヲ圖ロウトスルノデアリマス、デ
築キニ四十二議會ニ是ガ提出ニナツタノデアリマスガ、豫算
不成立ノ爲ニ前年度豫算範圍内ヲ以テ二百町歩ノ築造
ヲ致シマシテ、残り二千四百町歩、及ビ附隨工事ハ茲ニ新
ニ鹽田擴張費トシテ計上イタシタノデアリマス、鹽田擴張
費ハ五百七十萬餘圓デアリマシテ、九年度カラ十五年度ニ
亙ル七箇年計畫デアアルノデアリマス、此六箇年デアリマス
此六箇年計畫デアアルノデアリマス、此六箇年デアリマス
ヲ致シテ、即チ之ヲ切上ゲマシテ公債額ハ二千八百五十
萬圓ヲ増加イタサウト云フノデアリマス、第二項ヲ削リマ
シタノハ前ノ電話事業公債法ニ於テ削リノト同一ノ趣意
カラ出テ居リマス、次ハ臺灣事業公債法デアリマス、臺灣ハ
鐵道建設費ト基隆築港工事費ノ爲ニ新規追加ヲシヤウト
云フノデアリマス、鐵道建設追加工事ハ、大正八年カラ起
工シテ居リマス、臺灣中部海岸線鐵道ト並行スル鐵道縱
貫道路ノ中、後龍溪、大安溪、大甲溪ノ三河川、總延長八
千九百尺ノ道路橋ハ鐵道橋ト密接シテ居リマス、鐵道
橋ノ工事ヲ存スト同時ニ、其道路橋ノ基礎工事ヲ施行ス
ル必要アリ、又同時ニ致ス方ガ有利デアリマス、總費額
七十六萬六千圓ヲ既定鐵道建設費ニ追加イタシタイト云
フノデアリマス、基隆築港第二期追加工事ノ現在計畫ノ
主眼タル有效岩壁延長三百六十間ヲ延長イタシマシテ、岩
壁ノ總荷役能力ヲ四十五萬噸ト云フコトニナシテ計畫サレ
テ居ルノデアリマス、是デハ今日ノ形勢ニ鑑ミマシテ、甚シ
ク過小デアアル、計畫ノ擴張ヲ致サナケレバ時勢ニ應ズルコト
ガ出來ナイデ、總荷役能力ヲ八十萬噸ニ耐ユル程度ニ規
模ヲ擴張イタシタイト云フノデアリマス、デソレノ總費額千
二百九十五萬圓、此ニタ廉合計イタシマシテ千三百七十
萬圓ヲ公債發行限度ニ追加イタシタイト云フノデアリマス、
鐵道建設費ハ大正九年度十年度ノ二箇年繼續費デア
リマス、基隆築港工事費ハ大正九年度カラ十五年度ニ亙
ル七箇年ノ繼續費デアリマス、次ニ樺太事業公債法、樺太
ニ於キマス、鐵道建設費ハ大正七年度カラ十一年度ニ亙
ル繼續費總額五百四十七萬餘圓デアリマシテ、現ニ進行
イタシテ居ルノデアリマス、物價ノ騰貴ト又既定線路ノ
工事變更ニ依リマシテ、新ニ鐵道建設費追加ト致シマシテ
大正九年度以降十一年度ニ亙ル三箇年ノ繼續費二百十
萬圓ヲ必要ト致スノデアリマス、向ホ產業ノ發達ニ伴ヒマ
シテ、内地トノ交通頻繁ヲ加ヘ、從テ物資ノ移出入ガ益
増加イタシマス、ニ當リマシテ、樺太ニ於テ最重要ナル大
泊港ノ施設ガ之ニ伴フテ居ラヌノデアリマス、往々海陸ノ
連絡ヲ缺キマシテ爲ニ交通ヲ害セラレコトガ少クナイ、ソ
レ故ニ是ガ修築ヲ速成イタシマス爲ニ、其總費額四百九十

萬圓ヲ大正九年度以降四箇年度ニ亙ル繼續費トシテ支
出ヲ要スルノデアリマス、前ニ申シマシタ通り、建設費追加
額二百十萬圓ト大泊ノ築港費四百九十萬圓トノ合計七
百十萬圓ノ公債發行額ノ追加ヲ致スト云フノガ本案ノ趣意
デアリマス、次ニ大正五年法律第四號改正法律案、即チ臨
時軍事費デアリマス、大正三年臨時事件ニ要シマス、經費
ハ、大正九年度分ト致シマシテ、臨時軍事費一億三千四
百萬圓ヲ要スル豫算ヲ立テマシテ、其中千百萬圓ト云フモ
ノハ臨時軍事費特別會計ノ收入ヲ以テ充當イタシマス、一
億二千二百萬圓ト云フモノハ借入金及ビ公債ニ求メル計
畫ヲ致シタノデアリマス、然ルニ斯ク計畫ヲ立テマシタル以
後ニ於テ、西比利亞方面ニ於ケル狀況ノ變化ヲ來タシマシ
テ、薩哈連州ノ一部ヲ占領スルノ必要ヲ生ジテ參ゾデア
リマス、此占領ニ要スル費用ハ約三千三百萬圓、是ハ矢張
リ全部借入金及公債ニ依ルト云フ計畫デアアルノデアリマス
サウ致シマス、此二口デ合計一億五千五百萬圓ニナリマ
ス、此一億五千五百萬圓ヲ繰上ゲテ一億六千萬圓ト致シ
マシテ、規定ノ三億二千萬圓ト云フモノニ加ヘテ、四億八
千萬圓ト改正ヲ致シタイト云フノガ、本案ノ趣意デアリマ
ス、其次ニ國債整理基金特別會計法改正法律案デアリマ
ス、國債整理基金特別會計法ノ第五條デアリマス、是ハ
借換ニ關スル規定デアリマス、此規定ニ依リマス、政府ハ
計算上利益アリト認メル場合ニ於テ國債ヲ借換ノ爲ニ低
利ノ國債ヲ募集スルコトヲ得ト云フ規定ニナシテ居リマス、
計算上利益アリト云フ意味ガ甚ダ不明デア、テ要領ヲ得ナ
イノデアリマス、即チ計算上利益アリト云フコトハ新期ニ出
ス公債ト、現在借換ヤウト云フ公債トニ、ドウ云フ比較ヲ
以テ利益アリト認メルモノカ、ソレガ甚ダ不明デア、借換
ヘムトスル公債ヲ發行シタル時ノ價格ト、新期ニ發行セムト
スル公債ノ發行價格トヲ比較スルモノカ、或ハ舊債ノ利廻リ
ト新債ノ利廻リトヲ比較スルノデアルカ、或ハ舊債ノ現在
相場ヲ取テ、之ヲ比較シヤウト云フモノカ、又進ンデ外債デ
アレバ爲替相場マデモ之ヲ打算シテ比較シナケレバナラヌ
ノカ、誠ニ其意味不明デア、又低利ノ國債ヲ
募集スルコト云フコトニナシテ居リマシタガ、我ガ國債ハ大部
分ハ五分利公債デアリマス、低利デナクテハ公債ガ出來
ヌト云フ意味ハ此方面利付キタケテ云フモノカ、或ハ利廻リ
ヲ云フノカ、ソレハ疑問ガアリマスガ多分此法文ノ意味ハ利
廻リデナクシテ、其呼名ノ利率ノ意味ト解シテ居リマス、
其呼名ノ利率デアルト致シマス、五分利公債ヲ借換ヘル
ニハ少タトモ其以下ノ呼名ノ利率デナケレバナラヌト云フ
ト、借換ノ働キト云フモノハ非常ニ狹ク局限サレテ四分利
公債ト四分半利公債ト云フヤウナモノヲ新期ニ發行シナ

ケレバ、公債ノ借換ガ出來ヌト云フコトニナル、殊ニ我ガ内
國債ハ隨分色々ナ公債ガ出テ居リマシテ、早晚之ヲ統一シ
テ公債ノ流通ノ便利ヲ圖シテ公債ノ價格ヲ増進イタス道ヲ
講ジナケレバナラヌノデアリマス、公債ノ借換統一ニ付
テハ働キコトガ出來ル相當ナ規定ニ之ヲ改メ、必要ガアル
ノデアリマス、又第五條ノ第三項ハ國債借換ノ爲發行スル
國債ニ付テハ、整理公債條例ニ依ルト云フモノデアアル、整理
公債條例ニ依ルト云フコトハ、明治十九年ノ條例デアリマ
シテ、其規定ハ甚ダ時勢ニ適シナイモノガアリマス、ソレ故ニ
現在ノ整理公債條例ニ依テ發行サレテ居ル公債ニ對
シテハ、無論該規定ヲ適用シテ行カナケレバナラヌノデアリ
マス、之ヲ借換マシタル時ハ其新公債ニ對スルモノハ、一般ノ
公債ニ關スル原則ニ依テ整理公債條例ニ依ラナイヤウニ
致シタイト思ヒマス、是モ矢張り國債ノ形式、國債ノ取扱
ヲ統一イタシテ國債ノ流通ノ便利ヲ圖リタイト云フ趣意デ
アルノデアリマス、附則ノ大正五年法律第三十四號ヲ廢
止スルト云フ、是ハ御承知ノ通り最初ノ法律第三十四號
ハ、外國ニ於テ內債ヲ借換ヘル爲ニ外國ニ於テ公債ヲ發
行スル場合ニハ國債整理基金特別會計法ノ第五條ノ規
定ニ依ラザルコトヲ得ト云フ法デアリマス、第五條ノ本回
提出イタシマシタヤウナ風ニ改正ヲ致シマシタ、大正五年
法律第三十四號ハ、自然必要ノナイコトデアリマス、之
ヲ廢止シヤウト云フノデアリマス、改正案ノ第五條ニ政府
ハ國債整理又ハ借換ノ爲ニ必要ナ額ヲ限度トシテ起債ス
ルコトヲ得ト云フ、規定ハ是ハ國有鐵道法京釜鐵道買收
法トノ借換規定ニ其例ヲ用ヒタノデアリマス、次ニ家祿賞
典祿處分法施行法中改正法律案第五條第二項ヲ改正
イタシマス、ハ、利子ノ支拂期限ニ關スル規定ヲ變ヘヤウト
云フノデアリマス、ソレカラ第六條二項ヲ削リト云フコトハ
整理公債條例ノ適用ヲ爲スト云フノヲ削ラウト云フノデア
リマス、所ガ家祿賞典錄、鐵道國有法ト、京釜鐵道買收法
ト、是ノ改正ハ此整理公債條例ノ適用ヲ、借替ラルベキ新
公債ニ適用スルト云フコトハ止メヤウ、整理公債條例ノ適
用ヲ止メテ一般ノ國債ノ原則ニ據ラウト云フノデア、改正ヲ
致スノデアリマス、ソレデ整理公債條例ハ其未拂時期等ノ
制限ガ附ケテアリマス、又公債ノ據置期限、償還期限、並
ニ公債元利金ノ消滅事項等ニ付テ、特別ノ規定ガシテア
ルノデアリマス、ソレデ家祿賞典錄ノ公債、是等ヲ若シ交付
致シマシテ又鐵道國有ノ公債デモ將來借替ヲ致シマシタ
場合デモ、其新規ノ公債ニ對シテハ整理公債條例ノ規定
ヲ適用セズ、國債整理基金法、若クハ國債ニ關スル法ノ一
般原則ニ依リマシテ總テ我國債ノ取扱ヒヲ統一シタイト
云フノガ趣意ナンデアリマス、殊ニ此法律案ヲ此議會ニ提

内務省土木局長 堀田 貢君
大藏次官 神野 勝之助君
大藏書記官 河田 烈君
逓信次官 泰 豐助君

出致シマシタ理由ハ、鐵道國有法ニ依リマシテ、舊北海道炭鑛鐵道會社ノ英貨社債約三百九十萬圓ト云フモノヲ國ガ繼承シテ居ルノデアリマスガ、ソレガ來年ノ一月一日ニ償還満期トナルノデアリマス、是ハ鐵道特別會計ノ負擔ニ屬シテ居ル公債デアルノデアリマシテ、結局之ハ償還スルコトハ困難デアリマスカラ、借替ヲ行ハナケレバナラスト思フノデアリマス、デ借替ヲ致シマスル問題ガ目前ニ迫ッテ居ルノデアリマスルカラ、此借替ヲ爲スニ付テハ古イ法律ノ規定ニ依ラズシテ、總テ一般ノ國債ニ關スル法律ノ一般原則ニ依ルト云フ趣意ヲ以テ改正ヲ企テマシタノデアリマス、丁度ソレト同ジヤウナ規定ガ家祿賞典祿處分法中ニモアリ、京釜鐵道買收法中ニモアリマスカラ鐵道國有法ノ改正ヲ爲スト一緒ニ是等ノ三法律ノ規定ヲ此場合ニ於テ改正ヲ致シテ置キタイト云フ趣意デゴザイマス、丁度此家祿賞典祿、鐵道國有法ト京釜鐵道買收法中ノ御説明ハ稍、混同致シマシタガ、併シ之ヲ削除セムトスル趣意ハ皆共通ナ同一ノ理由デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○仁尾惟茂君 總テノ質問ヲ御聞キニナリマスガ

○委員長(荒井賢太郎君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、今日ハ政府ノ説明ダケニ止メテ、次回カラ質問ヲ始メタイト云フ御希望ノ方モアリマスガ如何致シマセウカ

○仁尾惟茂君 ドウデゴザイマスガ、モウ今日ハ時間モ何デアリマスガ、次ニ致シマセウカ、私ハ明日デモ宜シウゴザイマス

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ如何デアリマセウカ、サウ云フ御希望ノ方モアリマスカラ、會期モ切迫シテ居リマスガ、今日ハ是デ止メマシテ、明日ノ午後一時頃カラ開クト云フコトニシテ、質問ヲスルコトニシテハ、就キマシテハ明日ハ細カク質問ガ出マセウカラシテ、各關係ノ政府ノ御方ニ御出席ヲ願フコトニシテ、午後一時カラ、ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午前十一時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 荒井 賢太郎君
副委員長 小山 健三君
委員 子爵榎本 武憲君
男爵東郷 安君
男爵池田 長康君
男爵仁尾 惟茂君

政府委員

樺太廳長官 永井 金次郎君